

ひょうごプラスチック資源循環コンソーシアム

コンソーシアムでの取組



■ ひょうごプラスチック資源循環コンソーシアムを展開中

観光やスポーツ等、異分野の業種や市町、リサイクラー等と連携し、プラスチック資源循環促進方策の具現化に取り組んでいる

コンソーシアムの4つのテーマ

プラスチックの使用削減などの促進

〈Reduce〉

- 城崎温泉旅館でのプラスチック使用削減・生分解性プラスチックの利用促進
- ・ 城崎温泉旅館協同組合が主体となり、宿泊客にアメニティグッズ持参を呼びかけ、城崎の街全体でプラスチック製品の使用削減に向けた取組を展開し、サステナブルツーリズムの推進を図る
- ・ 宿泊客へアメニティグッズを提供する場合には、素材を生分解性プラスチックへ転換

〈Reduce-Reuse〉

- イオン・テラサイクルジャパンでのLoopの取組を展開
- ・ 「Loop」を通じて、プラスチックごみを出さない新しいライフスタイルの普及を促進
- ・ 今後、店舗数や商品数の拡大を目指す

〈海洋プラスチック対策〉

- カネカやダイセルなどの生分解性プラスチックの利用促進
- ・ 海洋プラスチックごみ対策として生分解性プラスチックへの置き換えを促進



水平リサイクル等の促進

- 食品トレー・透明バック容器の店頭回収促進

- ・ 小野市がスーパー及び包装材メーカー（（株）エフピコ）と連携し、トレーの水平リサイクルの取組について普及啓発を実施。今後、更なる資源循環の取組を目指す

市町が回収する製品プラスチックの効率的な資源循環

- 分別収集リサイクルスキームの構築

- ・ 小野市、加西市、加東市と異が共同で、各市ごみ中のプラスチック資源潜在量を把握、リサイクルケース別のコスト・CO₂削減効果を検証
- 【環境省「プラスチック資源循環に関する先進的モデル形成支援事業」（R4年度）に採択】

行動変容の促進

- アシックスとの連携

- ・ スポーツウェアの回収やプロモーションイベントを実施。スポーツウェアを回収し新たなウェアへリサイクルする取組を目指す

- ごみ拾いアプリ（ピリカ）の活用

- ・ ごみ問題を自分事として捉えきっかけとして、ごみ拾いイベントや身の回りのごみを拾った際などに「兵庫県版ピリカ」活用を呼びかけ

- JIとの連携

- ・ 豊かな海づくり大会の関連イベントとして明石市内沿岸でピリカを活用した清掃活動を開催。「兵庫県版ピリカ」をお披露目

- 海洋プラスチックごみ問題を啓発するイベントの実施

- ・ （公財）ひょうご環境創造協会が、レジ袋の廃止にかかる寄付を活用し、須磨水族園や人と自然の博物館等で企画展を開催
- ・ 兵庫県内の中高生を対象に、海ごみに関する環境学習や海岸清掃活動を実施
- ・ 神戸市と共催で、環境に配慮した様々な取り組みを行っている事業者・団体などを集め、こうべ環境懇話会「かんばく」を開催

コンソーシアムへの参画メンバーの活動をつなぎ、県民に対して広く普及啓発を行うことで、環境意識を高め、資源循環につながる行動変容を促す。

Find VALUE ~みつける~

城崎温泉旅館協同組合が主体となり、令和4年10月から宿泊客にアメニティグッズ持参を呼びかけ、今後、城崎の街全体でプラスチック製品の使用削減に向けた取組を展開。サステナブルツーリズムの推進を図る。宿泊客へアメニティグッズを提供する場合には素材を生分解性プラスチックへ転換。城崎温泉の新たなブランディングに寄与している。

Create VALUE ~つくる~

「Loop」は、従来使い捨て容器で販売されていた製品をリユース可能な容器（ガラス・ステンレス等）で販売し、使用済み容器を回収して、洗浄・製品の再充填を行い、再び販売する循環型ショッピングプラットフォーム。世界3カ国（アメリカ・フランス・日本）で運用中で、県内イオン8店舗で導入され、記念イベントを開催した。プラスチックごみを出さない新しいライフスタイルの普及を促進し、今後、導入店舗数や商品数の拡大を目指す。

Share VALUE ~つたえる~

JT（日本たばこ産業株式会社）は、社会貢献活動「Rethink PROJECT」の一環として明石市望海浜で地元のNPO法人おーえんくらぶ等と海岸清掃活動「ひろえば街が好きになる運動」の様子を、株式会社ピリカが提供するごみ拾いSNSアプリ「ピリカ」により「見える化」。さらに身の回りのごみを拾った際に投稿されたデータが兵庫県の地図上に示されるウェブサイト『クリーンアップひょうご』を作成している。ごみの散乱状況についての「気づき」を通じて、ごみ問題を「自分事」としてとらえ、ごみ減量やリサイクルなどに関する各主体の行動変容が促進するよう取り組みを進めている。



（イオンでのLoop 記念イベント）（クリーンアップひょうご）

Player

兵庫県 環境部 環境整備課

「水平リサイクル等の促進」「市町が回収する製品プラスチックの効率的な資源循環」では県内自治体等と連携し、取組を推進している。

Features：4つのテーマを掲げた普及啓発的な支援

プラスチックの資源循環を促進するため、令和3年度に「プラスチック資源循環検討会」を設置し、兵庫県における現状と課題を整理し「持続可能な循環型社会の実現に向けたプラスチック資源循環の促進方策について」をとりまとめた。令和4年度からプラスチック資源循環を促進するため、観光やスポーツ等の異分野業種や市町、リサイクラーと連携し「ひょうごプラスチック資源循環コンソーシアム」として「プラスチックの使用削減などの促進」「水平リサイクル等の促進」「市町が回収する製品プラスチックの効率的な資源循環」「行動変容の促進」の4つのテーマを掲げ、普及啓発的な支援を中心に展開している。

Innovation：資源循環型プラットフォーム「Loop」

イオンリテール株式会社とテラサイクルジャパン合同会社は、商品の容器を使い捨てせず、繰り返し使う『資源循環型プラットフォーム「Loop」』の取組を県内のイオン10店舗で推進。県では「Loop」を通じて、使い捨てせず「繰り返し使う」新しいライフスタイルを広げ、プラスチックの使用削減・再使用を拡大していくこととしている。

Future：コンソーシアムの拡大に向けて

今後は、2030年「プラスチックの発生抑制・再使用・再生利用・リニューアブルの進展」、2050年「温室効果ガス排出量実質ゼロとプラスチック資源循環をともに実現」を目指した取組を強化。現在取り組んでいる内容の深化や、地域での取組の全県への横展開を進めるとともに、新規テーマの設定や連携主体の追加等、コンソーシアムの拡大を図りたい。